

「勇往邁進③～体育祭編～」



3年C組

勇往邁進

仰星

【前号からの続き】昨今、小学校運動会や中学校体育祭は大きく様変わりしました。コロナ禍の中、集団感染防止策として三密(密閉・密集・密接)を避けるため、昼食の時間設定の有無、競技種目の見直し・短縮が図られました。さらに、教員の働き方改革、子どもの健康面での配慮、練習時間の削減など学校行事の見直しが進んだ結果、金曜日開催の給食後下校、土曜日午前中開催の昼食なしなどが、主流になりつつあるようです。



3年C組(予選)
クラス対抗大縄跳び



先生方や卒業生チームも参戦した⑩学年対抗リレー

しかし19回目を迎えた本校体育祭は、過去の伝統とよき、本校の強みをまだしっかりと残しています。午前中10種目、午後9種目と「見どころ満載、興奮の連続間違いなし」という競技種目が目白押しです。昼食も、ご家族とふれあいの時間を大切にしています。そして

何よりも、お子様の活躍や輝きを間近でご覧にすることができます。今回は、体育祭の様子第三弾と三年生の作文をお届けします。

【次号に続く】

「感謝でいっぱいの体育祭」

3年C組 板垣 漣

最後の体育祭。今年は赤白の二団でしたが、団長や副団長、先生方や体育委員のおかげでスムーズで楽しい体育祭ができました。団長になれなくて残念でしたが、体育委員として種目の手伝いをし、とても楽しい体育祭が出来、嬉しかったです。

騎馬戦では上になり、二組のハチマキを取って最高でした。やはり騎馬戦は上に乗って争うのが一番楽しいです。最後の種目、仰星演舞「ソーラン節」では、二、三年生で踊り、練習の成果を発揮し、とても良いソーラン節になりました。頑張ってくれた団長、副団長、先生方に本当に感謝です。



「仲間と協力することの大切さ」

3年C組 杉原 向日葵

今年の体育祭では、体育委員として用具の準備をしながら、ハリケーンという競技に出場しました。ハリケーンは長い棒をみんなで持って走るリレーで、チームワークがとても大切な種目です。実際にやってみると、思っていた以上に息を合わせるのが難しく、最初はバランスを崩しそうになったり、スピードが出せなかったりしました。でも練習の中で仲間と声を掛け合いながらだんだんと息が合ってきて、最後は上手に進めるようになり、本番はとても楽しくゴールすることができました。

この体育祭を通じて、仲間と協力することの大切さを改めて感じることができました。この経験をこれからの学校生活に生かしたいと思います。





3年D組(決勝)
クラス対抗大縄跳び



新種目⑨三輪車競走・選抜男子



「仲間たちとつかんだ優勝」
3年D組 森 彩翔

今年の高校生活最後の体育祭では、赤団と白団二つの団に分かれ、スローガン勇往邁進のもと、みんなが全力を出し合い優勝に向けて頑張ることができました。私の中で印象深かったのは、クラス対抗大縄跳びです。クラスの心が一つになり40回という記録を残すことができました。すごくうれしい気持ちと共に、高校生活最後の思い出として、とても良いものになったとおもいます。

今回の体育祭では、天気の影響で予定が前倒しになったり、足を負傷したり、想定外のハプニングが沢山起こりましたが、それでもめげずに最後まで頑張れたこと、一緒に練習してきた仲間たちと優勝をつかめたことが何よりもうれしく、そして一番の思い出になりました。この三年間の体育祭はとても良い思い出になり、良い経験になりました。



「後悔のない高校生活最後という今」
3年D組 辻 日和

今年は私にとっても高校生活最後の体育祭という一大イベントでした。しかし雨により前日に前倒しになったり、色々想定外なことが起こったりしてとても印象的でした。高校生活最後の体育祭で初めて自分の所属する団で優勝することができ、またクラス対抗大縄跳びでも40回以上跳び、一位を勝ち取れたことがとても思い出に残っています。

三学年クラス対抗リレーでは惜しくも一位をのがしましたが、クラスで三番目に走った担任の長末先生がスタート三歩目で負傷し、痛々しくて心配でした。私たちのクラスにはそんな本気な先生がいるからこそ、一致団結という言葉が一番合うと思っていて、とても感謝しています。

体育祭全体を通して他にも接戦の末勝利したハリケーンや初めて挑戦した指揮とアナウンス、最後の演舞、全ての出来事に「高校生活最後」がつく今を、後悔のない思い出にすることができました。



⑧パン食い競走・選抜女子

